

we have civic pride
and enjoy "kisela
kawanishi" public-life
with you all!



キセラ川西

Kisela Kawanishi

キセラ川西市民プログラム

“ワクワク” することを “やっちゃおう”!

Vol. 7
NEWS

2017.1.7sat

2017年1月7日、第7回目のキセラ川西「市民プログラムワークショップ」が行われました。今回は、21名の参加者が集まり、「キセラ川西せせらぎ公園」での活動の実現に向け、チームに分かれて、企画書づくりや課題解決の方向性、試行活動等を組み込んだスケジュールについて話し合いをしました。

最後に、大阪府立大学大学院生命環境科学研究科の武田重昭先生から、今後の進め方についてアドバイスを受けました。



チームごとの目標に
向けて具体的な
活動の企画をたて
意見交換を行いました

PROGRAM

01. はじまりのあいさつと情報提供
02. 前回ワークショップの振り返り &
・ 本日の説明 ・ 試行活動の報告
03. 問題点の解決方法の検討
04. 活動の企画書まとめ
・ 目標に向けて企画書をまとめる
・ 企画の内容やスケジュールを検討
05. 全体発表
06. 活動の情報共有タイム
07. おわりのあいさつ



OVER VIEW

日時 2017年1月7日(土)
9時半～12時
場所 アステ川西市民プラザ
マルチスペース2
参加人数 21名



TOPIC

■ 移植イベントが開催されました!
1/24のキセラ川西せせらぎ公園での移植イベントでは、自然チームの川戸隆さんが、台場クヌギや菊炭について解説をしました。



菊炭



台場クヌギの植付けの様子

REPORT. 1

- 情報共有 ● 工事の進捗状況やスケジュールの確認
- 公園利用ガイドライン【試行版】(案)の説明

Summary. 01 キセラ川西せせらぎ公園の工事の進捗状況や
開園までのスケジュールについて情報を共有しました



公園のシンボルとなるエドヒガンや台場クヌギを、川西市北部の黒川地区より、移植するプロジェクトについて、説明がありました。

黒川地区とキセラ川西が協力して、西島清順さんの監修のもと進めてきたプロジェクトで、新しい公園に「里山を再現できないか」という市民の想いに基づいています。

Summary. 02 キセラ川西せせらぎ公園利用ガイドライン【試行版】(案)
の内容について説明がありました

このガイドラインは、キセラ川西せせらぎ公園を、市民が使いこなして、豊かな暮らしや魅力的なまちを実現するのを、サポートするために作成されたものです。

本ガイドラインは平成30年8月31日までの【試行版】です。

試行期間を経て、より実際の利用状況に即した、使いやすいガイドラインへと継続的に改訂を行っていく予定です。

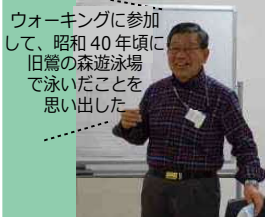


REPORT. 2

- 5つのチームに分かれて市民プログラムの企画を検討
- 課題の整理 ● 試行活動等を組み込んだスケジュールの検討 ● 全体発表

1 試行活動の報告…のんびり地域活性化チーム

- のんびり地域活性化チームの試行活動について記録写真を見た後、参加者や主催者が感想を發表しました。



ウォーキングに参加して、昭和40年頃に旧鷺の森遊泳場で泳いだことを思い出した



雄大な空間が市街地にあるということをウォーキングルートを通じて紹介したい

2 企画のブラッシュアップ・課題整理

- 各チームともそれぞれに企画の具体的な検討が進んでいます。課題も明確になり、解決に向けて知恵を出し合いました。



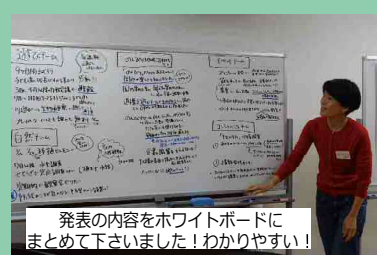
3 具体的なスケジュールの検討

- 企画の実現に向けて、試行活動等を組み込んだスケジュールを検討しました。



4 発表…チームごとに特色がキラリ!

- 発表では、各チームそれぞれの目標に向けて話し合いが進んでいることがわかりました!



発表の内容をホワイトボードに
まとめて下さいました! わかりやすい!

NEXT INFO

■ 日時: 2017年3月18日(土)
9時半～12時
■ 場所: アステ市民プラザ マルチスペース2
次回は…
一年の活動の総まとめと、来年度以降の活動について話し合いをします!

● 問い合わせ先

川西市役所 5階 キセラ川西整備部地区整備課
担当: 山角、藤田

〒666-8501 川西市中央町12番1号
電話: 072-740-1207 FAX: 072-740-1330
メールアドレス: kawa0193@city.kawanishi.lg.jp



具体的な活動計画をたてました

企画書づくりとブラッシュアップに取り組みました。
課題解決に向けて、知恵を出し合いながら、
活動のスケジュールをたてました。

●自然チーム

企画書 **身近な自然に親しもう！**
タイトル **三世代をつなぎ、里山とまち、水辺を結ぶ**

活動計画力レンダ

- 1/22 エドヒガン移植イベント参加
- 1/24 台場クヌギ移植イベント参加
- 2/11 水生生物観察会（試行）
・川西北小学校正門前水路
・せせらぎ遊歩道
- 3月下旬頃 せせらぎ遊歩道で
エドヒガンの花見（咲くのを期待！）
- 5～6月 ホタルの調査・観察会

7月以降は
公園やせせらぎで
水生生物や植物の
定点調査・観察会
をしたい



参加者：石津 容子、牛尾 巧、川戸 隆、木下 ゆき子、木下 朝陽、
中本 二郎、播野 可苗江、三浦 泰幹

●のんびり地域活性化チーム

企画書 **のんびりと
周辺地域を知ろう！**
タイトル

活動計画力レンダ

- 7月の開園までの取組み予定
・公園周辺の案内板について
内容を市と協力して検討
・誘導サインについて遊びチーム
や「ゆめほたる」と連携して製作
・周辺案内パンフレットの検討
- 3月頃 里山を訪ねる
ウォーキングルートの視察

公園と周辺の
魅力を市民に
伝えるための
情報提供ツール
をつくりたい



参加者：猪飼 和枝、河野 威士、河副 健一郎、輔信 捷三、渡辺 元

企画書 **のんびりしよう！**
タイトル

活動計画力レンダ

- 7月の開園までの取組み予定
・リラックスできるベンチ等の
デザインを市と協力して検討
・椅子やテーブル、パラソル等
設置について企業協賛の検討
(PFI 事業に参画企業と連携)
・公園開園時にカフェができる
ように自治会等との連携を検討
- 春休み・夏休み頃
・「公園に置く椅子をつくろう」
遊びチームと協力で工作会

新しい公園で
リラックスできる
環境を企業等の
協力も得て
つくってきたい



参加者：猪飼 和枝、河野 威士、河副 健一郎、輔信 捷三、渡辺 元

●遊びチーム

企画書 **子どもが自由に遊べる環境づくり**
タイトル **『プレーパーク』**

活動計画力レンダ

- 1/22 ごはん炊き
- 1/28「プレーパークを知る」
講演会参加
- 2/26 外遊び
- 3/19 講演会参加
- 3/26 作戦会議（新年度の計画）
- 4月頃 他のプレーパークを見学
- 5～6月 桜ヶ丘公園でプレーパーク
- 7月以降 ケセラ川西せせらぎ公園
でプレーパークを定期的に開催

自然チームと
協力しながら
川遊びなども
やっていきたい



参加者：田村 幹夫、吉村 俊雄

●イベントチーム

企画書 **せせらぎ KAWANISHI**
タイトル **『ミュージックマルシェ』**

課題整理

- 費用について
・持続可能な活動とするために、
イベント等での使用料金が
どうあるべきか問題提起した
- 広報・情報発信について
・集客や出店者向けの広報が必要
・公園の可能性を市民に伝えるため
に情報発信が重要
・HP の立上げ等情報発信をコン
シェルジュチームと協力して検討
- 活動計画について
・市の開園イベントとの連携をどう
するか…

公園の可能性を
市民に伝えるのが
イベントチームの
目標です！



参加者：喜多 義明、小杉 大介

●運営支援・広報・コンシェルジュチーム

企画書 **みんなのプレゼンの場『ケセラカフェ』**
タイトル **&『情報発信セミナー』**

企画の内容

- 『ケセラカフェ』
・みんながケセラ川西でやりたい
ことをプレゼンする場
・ケセラ川西に興味のある市民
に対してオープンな場
・やりたい人とやれる人のマッ
チングの場
・4月以降に取組みを始めた
- 『情報発信セミナー』
・集客、広報、助成金申請…等、
市民活動を進めるためのノウハウ
を伝える

コンシェルジュ
チームの存在自体
が実験的なので
今後も色々な
提案をし続けたい



参加者：入江 陽子、藤井 文、藤本 美穂、三井 ハレコ

●武田先生のアドバイス

大阪府立大学大学院生命環境科学研究所 武田重昭先生

●「バック・トゥ・ザ・フューチャー」 過去をふりかえりながら進む

このワークショップが始まったのは
昨年1月。立派な企画ができあがり、
みなさんの成長に驚いている。「バック・
トゥ・ザ・フューチャー」というのは、
過去を振り返りながら進むというギリシヤ
人の時間の概念だが、これまでに積み上
げてきた内容を振り返りながら、みんな
で前に進んでほしい。

●試行錯誤が大切

企画づくりに着手して約7ヶ月、これから
開園まで約7ヶ月、今、折り返し地点だ。
みなさんの活動は、実行する段階に入っ
た。一度やってみることで多くのことを
学ぶことができる。同時に、他の事例から
学ぶという視点も大切だ。機会があれば、
ぜひ先進事例にふれて学んでほしい。

●公園の価値が高まっている

今日のワークショップに参加して、こ
ういった話し合いの場が、公園の完成後
も続くということが、大きな「公園の価値」
だと感じた。他の公園にはない点であり、
ケセラ川西せせらぎ公園の価値だ。今年
は、すばらしい公園のオープニングと、
みなさんの活動に期待している。



「ひとことアンケート」の 一部をご紹介します！



- 今後はさらにさまざまな主体を誘いかけながらいろんなことを「育み」「生み出していく」場としてつながり続けていけるといいですね！
- 企画が具体化してきたので実現が楽しみです。
- 色々な可能性の中の問題解決についてボランティアで、業務で、どこまでのすみわけになるのか難しいと思った。
- 市におんぶにだっこの進め方ではあるが、これからはいろいろな動きが出てくるので結構大変だなあ…と実感している。
- 市側のオープニングイベントに関する進捗をワークショップ以外の日程でも共有してもらいたい。
- 回を重ねるごとに、すばらしいケセラ川西せせらぎ公園が完成できる様に思います。市の広報にて市民の皆様へ知らせることが、大切だと思います。
- 猪名川の水路をせせらぎ川に！定期的な観察会を開き、水生生物を見守っていききたい。
- ホタルでは、今までどちらかというと受身なものでしたが、今回初めて市民WSに参加し、ホタルPJも自分たちで色々考え活動していくことの刺激になりました。
- 生みの苦しみですかね。色々な事を考えます。良い方向で進めばいいなあと思いました。